

第 1 回学校運営協議会 議事録

日時	令和 5 年 5 月 2 9 日（月） 1 0 時～ 1 2 時 3 0 分
場所	小東山小学校 校長室
議題	①会長の指名（校長より）について ②令和 5 年度学校運営基本方針の承認について ③今年度の学校行事および児童の様子について ④地域学校協働活動の構想について ⑤来年度以降の委員について
議事録	
・委員からの意見、質疑 ⇒校長・教頭・担当からの回答、意見 →オブザーバー意見	
①会長の指名について ●校長より、令和 5 年度の会長として、吉村美由紀氏が指名された。	
②令和 5 年度学校運営基本方針の承認について ●校長より、今年度の学校運営基本方針についての説明および承認に関する協議依頼があった。 ⇒自尊心の高まりにより、「つながる」「みがく」ことで輝いてほしいと思っている。 ⇒自分という存在をしっかりとって居心地の良さを実感してほしい。 ⇒基礎学力をつけていかねばならない。 ⇒「元気」「笑顔」「仲間」を土台に先生と子供だけでなく、保護者・地域も一緒に歩んでいきたい。 ・PC を 1 人 1 台持っているのに、一斉授業である。先生のスキルによって授業の質が決まるのではない。習熟度によって課題の出し方ができないか。 ⇒まさに GIGA スクール構想である。個別最適な学習が狙いである。単なる連絡帳代わりでなく、課題をピックアップしていけたらよいが、35 人は難しい。しかし、めざしていくしかない。 ・PC は個別最適化を目指したツールだが、そこに「学び合い」を忘れてはならない。教室の黒板部分の半分ホワイトボード、半分黒板である。「つなぐ」「みがく」、より輝かせるための方策を立ててほしい。 ⇒集団で学ぶことに良さがある。コロナで異学年交流が縮小された。精選して小さくするだけでなく、子供たちが特別活動を主体的に考えることも一つである。社会性など、生きる力をつけていきたい。 ・参観日が楽しみである。学童での過ごし方とどう違うのか。学童では正直暴れる子供もいる。宿題ではただ単に答えを写す子供もいる。考えても分からないから、宿題を終わらせるだけを考えているのではない。学校でできることを地域や家庭での姿に近づける、乖離を失くすことが大切である。この学習がどうつながっていくか、理解することが大切である。学校と生活をどうつなぐか。	

→字を見ることがすら苦手な子供もいる。P Cを使っても理解すべきところを見ることができていないのでは。

⇒P Cはあくまでツールである。35人を指導していくのは至難の業である。学び方を教えることも大切である。

→そばにいただけでもいい。学習支援の在り方が問われている。教える側が待つ。やる気が出てくるまで待つ。それを含めて受け止めてくれるチームがあればよい。

⇒ぜひともチームづくりをしていきたい。

→そういうチームがあれば、のびのび等にも派遣していけるのではないかな。勉強は少し緩い感じの方がいいのではないかな。

⇒人材確保が必要である。

- ・最低5人はいないとできない。こども食堂をしている福祉センターでもWi-Fiがつながるので、できるかもしれない。基本的に事故やケガのないように努めている。

⇒感謝や思いやりの気持ちをもってほしい。

- ・地域の福祉センターには年配の方も多く、しっかり子どもたちに大切なことを伝えてくれる。

- ・どうしても立場的に年寄りに目が行く。未来を担っていく子供たちをいい子に育ててほしい。そのためにもほのぼの運動にもこども食堂にも参加していきたい。

⇒うまくいかなくても頑張ろうとしている。挨拶も前向きである。運動会に向けて少し疲れも出ているが。

- ・つながりがないので、地域が注意しづらい。学校が困っているだろうと思う。声をかけられる関係になっていきたい。

令和5年度学校運営基本方針が承認された。

③今年度の学校行事および児童の様子について

●教頭より今年度の学校行事について、生徒指導担当より児童の様子について報告があった。

- ・SNSの使い方だが、世界中が見ていることをもっと理解させたい。「ひょっとしたら嫌な気持ちになるかも」という予想ができるような子供になってほしい。

- ・子供たちのコミュニケーション力が足りない。保護者同士のつながりもなく、トラブルに発展しやすいのではないかな。

⇒スマホの使い方など、インターネット安全教室やサポートセンターの力を活用しながら、今年度も進めていきたい。

④地域学校協働活動の構想について

●教頭より、地域学校協働活動の構想に関する説明があった。

- ・例えば昔の小束山の地域のことなど、知っていく活動はどうか。
 - ・育童会は7割の加入率であり、むつみ会など、様々なところとつながりながら、少しずつ広がっていききたい。
 - ・小束山6丁目の交差点では、ベビーカーを押しているお母さんが見守りをしてくれていた。とてもありがたい。
- ⇒少しずつでも、基盤づくりを進めていきたい。そのためには、保護者や地域、職員にも知ってもらわなければならない。
- ・ふれまちの集まりに「学校だより」を持っていくことで、つながりを密にしていきたい。

⑤来年度以降の委員に関して

●校長より、令和6年度以降の委員に関する説明があった。

⇒来年度、吉村会長が年限で協議会委員を外れてしまう。良い人がいたら、紹介をお願いしたい。

～授業参観～

～終了～